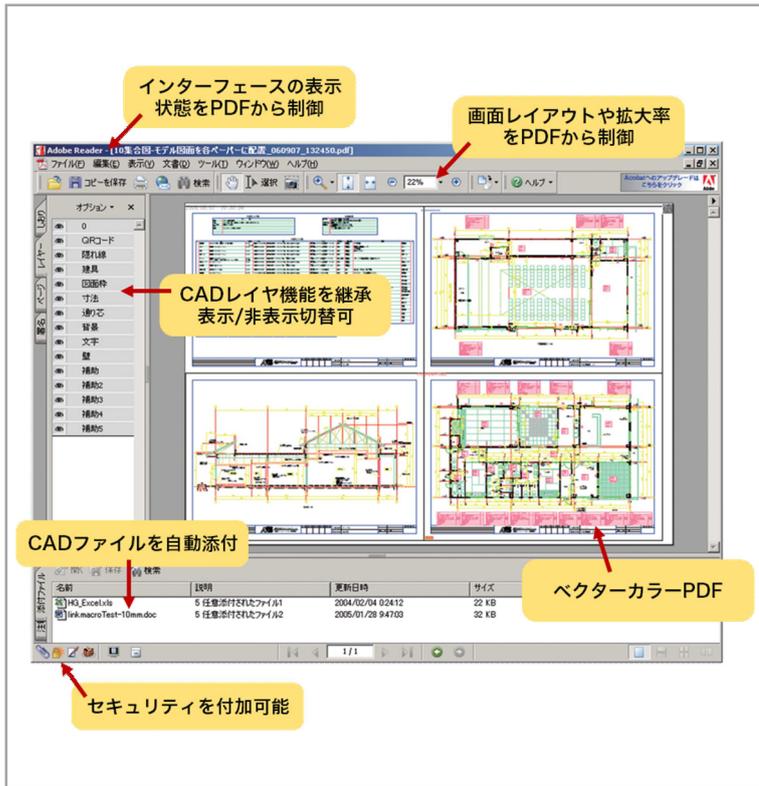


# HGPscanCAD

CAD ファイルの PDF 変換機能を搭載、マルチ PDF 変換サーバ



## ■ TECHNICAL DATA 2019/10

国土交通省による電子納品 (CALS/EC) は、自治体や民間でも主流となり、図面の SXF 化や、文書の PDF 化が日常業務で使用されるようになりました。特に PDF は、誰でもが簡単に閲覧でき、セキュリティや検索性能に優れている、長期保管に向くなど、外部公開・送信はもちろんのこと、保管業務でも幅広く使用されています。

ただし、AutoCAD など CAD フォーマットでは、「なかなか探せない」、「簡単に閲覧できない」「閲覧端末に膨大なコストがかかる」などの問題点が残りました。これら問題点は PDF 化することにより解決することができます。

「HGPscanCAD」は、HGPscanServPlus に AutoCAD などの CAD ファイルの変換機能を追加した製品です。図面はもちろん、ワード、エクセル、パワーポイントなど文書についても一括で PDF 変換が可能です。

### ■CAD ソフトを使わずに直接 PDF 変換

HGPscanCAD は、AutoCAD などの CAD ソフトや Acrobat または、プリンタドライバを使わずに、独自開発エンジンにて AutoCAD の DWG/DXF 形式 CAD データを直接解析し PDF を生成します。一般の CAD とプリンタドライバからの PDF 変換ソフトより、高品質、高速変換が可能です。また、長年 PDF 変換ソフトを開発してきたノウハウにより、セキュリティ設定やタイムスタンプ、電子署名など、改ざん防止機能など多くの機能を付加しております。

図面を見るために、工数をかける時代は終わりました。HGPscanCAD で誰でもが手軽に PDF 変換し、図面と文書を確認できます。

### ■高速変換

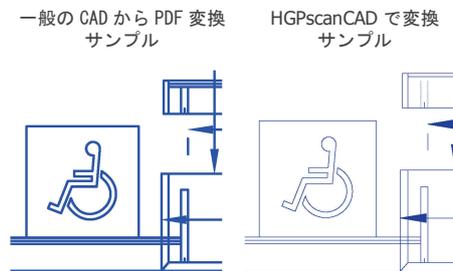
アプリケーションと印刷ドライバに依存しないダイレクト変換方式のため、AutoCAD と Acrobat を使用した PDF 変換よりも、1/50~1/100 の時間で変換が可能です。

### ■レイヤー機能

CAD のレイヤー情報を、そのまま PDF レイヤーへ置き換えた PDF が作成できます。AutoCAD レギュラー版+AcrobatPro でしかできない事をサーバソフトで実現。AdobeReader (無料ダウンロード可能) 上でレイヤー表示、非表示の切り替えも行えます。

### ■高品質・高圧縮

CAD データをダイレクトにベクターデータ化して PDF を生成していますので、拡大しても正確な印刷・表示が可能です。他の PDF 生成ソフトで採用しているプリンタドライバ方式とは違い、きれいでサイズもコンパクトな PDF 変換を実現しました。平均 1/6、1/20~1/3 の高圧縮を可能にしています。



### ■CAD ユーザ向けに特化した使い易さ

AutoCAD の PLOT 設定をそのまま利用しての変換できます。CAD ソフトに近い感覚で PDF を操作できますので、CAD ソフトや CAD ビューワが不要となります。

### ■セキュリティ設定

変換された PDF は暗号化 (40/128/256bit) パスワード設定、印刷禁止、変更禁止、抽出禁止、ダウンロード禁止、有効期限の設定などが可能です。

### ■CAD データ添付機能

PDF に変換しても、元の CAD ファイルも管理する必要があります。PDF にはファイル添付機能があり、PDF に添付してしまえば PDF のみで一元管理を達成できます。PDF に CAD ファイルを添付しても、圧縮されるので、元の CAD ファイルよりも小さくなります。CAD ファイルの取り出しは、PDF ファイルを Adobe Reader で開き、表示された CAD ファイルをドラッグ&ドロップで取り出すだけです。

HGPscanCAD では、元 CAD ファイルのほか、画像データ、外部参照ファイル、CTB ファイルなどの添付が行え、図面の一元管理が可能になり、保管スペースや管理コストが削減でき、閲覧性の向上が計れます。

### ■HGPscanServPlus の機能をフル実装

HGPscanCAD は、高精度 OCR 機能を搭載し、Word や Excel といったアプリケーションファイルの PDF 変換にも対応した、マルチ PDF 変換サーバ HGPscanServPlus の機能を全て実装しています。監視フォルダにデータを入れるだけで、全文検索可能なテキストレイヤ付 PDF の生成や、暗号化を施したファイルを生成することも可能で、堅牢なサーバシステムの構築を実現できます。

\* HGPscanServPlus の機能詳細については、HGPscanServPlus のカタログを参照下さい。

CAD ファイル変換設定画面

■レイヤー機能

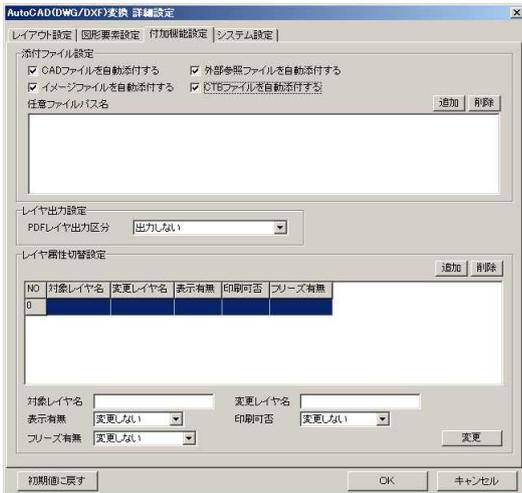
AutoCAD/JW\_CAD/SXF



この画面のあと、さらに各 CAD 毎の詳細画面が表示されます。

■PDF 変換 付加機能設定画面

添付ファイルやレイヤーの出力設定、印刷可否設定等を行えます。



監視ディレクトリに格納するだけで、CAD データ添付の PDF が生成されます。

- ・ Adobe Reader だけで、簡単に図面の閲覧が可能。
- ・ 必要ときは、CAD データを取り出せます

- ・ Adobe, Adobe ロゴ, Acrobat ロゴ, Adobe Illustrator, Adobe Photoshop, PageMaker, および PostScript は、Adobe System Incorporated (アドビシステム社) の商標です。
- ・ AutoCAD は、Autodesk, Inc の商標です。
- ・ その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。

開発・販売元  
株式会社 ハイパーギア

〒162-0846  
東京都新宿区市谷左内町 21 番地 市谷山上ビル 3F  
TEL 03-5225-7531  
FAX 03-5225-6512

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

お問い合わせは当社へ

■動作環境

- ・ CPU: クライアント OS の場合、インテル®製プロセッサ 2.0GHz 相当以上(2 コア)  
サーバ OS の場合、インテル® Xeon® プロセッサ 2.0GHz 相当以上(4 コア)
- ・ メモリ: 4GB 以上
- ・ DISK: インストール容量として 450MB 以上 ワークエリアとして 30GB 以上  
※Microsoft Windows Server 2008 R2 Windows 7 以降の場合、30GB 以上推奨

・ OS

- Microsoft® Windows 7® Professional/Enterprise/Ultimate (32bit/64bit・日本語版)
- Microsoft® Windows 8.1® (32bit/64bit・日本語版)
- Microsoft® Windows 10® (32bit/64bit・日本語版)
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 (64bit・日本語版)
- Microsoft® Windows Server® 2012 (64bit・日本語版)
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 (64bit・日本語版)
- Microsoft® Windows Server® 2016 (64bit・日本語版)
- Microsoft® Windows Server® 2019 (64bit・日本語版)

※アマノタイムスタンプサービス 3161 を利用する機能は、Windows Server 2019 に対応していません。

※本製品によりインストールされるソフトウェア

- ・ Microsoft® Visual C++ 2008 Redistributable

※インストールする必要があるソフトウェア

- ・ Microsoft® .NET Framework 3.5.1
- ・ Microsoft® .NET Framework 4.5 以降 (CLR バージョン 4 のみ)

※Microsoft Office のデータを変換/印刷する場合

本製品で、Microsoft Office の文書ファイルを PDF 変換するには、下記のプログラムがインストールされ、正しくライセンスされている必要があります。

- Microsoft® Office 2010
- Microsoft® Office 2013
- Microsoft® Office 2016
- Microsoft® Office 2019

※Microsoft Office は、Word/Excel/PowerPoint/Visio を対象としています。

※サブスクリプション方式でライセンスされる Office 365 のバージョンアップは、動作環境欄に記載されているバージョンと互換性のある機能範囲がサポート対象になります

※Print Spooler サービスが実行中となっている必要があります。

※上記の CPU、メモリ容量、ディスク空き容量は、HGPscanCAD5 システム連携オプションが動作するための最低限の動作環境です。カラー画像の OCR 処理を行う場合、画像データサイズにより容量を増やす必要があります。2A0/400dpi 以上の大型図面等の

変換を行う場合、変換に大量のメモリ領域を使用するため、空き実メモリ容 1GB 以上、空き仮想メモリ容量 1GB 以上を必要とします。(HG 仮想プリンタでは最大 2A0/600dpi までの PDF 変換が可能です)

■価格

HGPscanCAD (HGPscanServPlus の全機能を含む) 1,045,000 円(税込)

クライアント数、フォルダ数無制限 (ご発注番号 HG 2500-WT)  
対応 CAD: AutoCAD (R2.5~2019 / LT95~LT2019) DWG・DXF 形式  
JW\_CAD (DOS~Win Ver.7) JWW・JWC 形式

<機能制限事項>

TrueType フォントの埋め込みには未対応です。

【AutoCAD (DWG・DXF)】

- ・ 3 次元要素など未対応の要素があります。
- ・ 3 次元のビュー、OLE 貼り付けには未対応です。
- ・ ベクターフォント (SHX) は付属していません。フォントをコピーすれば使えます。
- ・ AutoCAD、AutoCAD LT 以外の AutoDESK 製品で作成された DWG ファイルに、その製品独自の要素が含まれている場合には未対応です。

【JW\_CAD】

- ・ JWW 形式の Ver.2.3 以前には未対応です。
- ・ JWC 形式の制限事項はありません。

<CAD 運用面での考慮事項>

CAD データの作成方法を統一することで、運用効率が向上します。社内外からデータを受け取る場合、下記のような納品基準を設けると効果的です。

【AutoCAD の場合】

- プロット情報を入力してもらう。(用紙サイズ、尺度、印刷対象)
- 用紙サイズ、尺度を統一する。
- モデル、ペーパーのどちらかに統一する。
- モデル空間の場合、複数の図面を入れれない。
- 統一した CTB を用いる。

【JW\_CAD の場合】

- 用紙枠に合わせて図面を作成する。
- 1ファイルに複数の図面を入れれない。
- レイヤー別に複数図面を入れれない。
- JWW 又は JWC のどちらかに統一するとベン設定が楽になる。